

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2019. 11. 25 No.16

地域が子どもを育てる ～上道小での取り組み～

「かっぱ隊」の読み聞かせ(10/24)

読み聞かせボランティア団体「かっぱ隊」の皆さんが、月2回程度、朝の始業前に読み聞かせをしておられます。この日はすぎの子学級・そよかぜ学級と1,5,6年生の各教室で行われ、担当の方がそれぞれ思いを込めて選んだ本を表情豊かに読まれました。子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

活動が終わると、校長室での振り返りです。この日感じたことや子どもたちを取り巻くさまざまなことについて意見が交わされました。地道な積み重ねが大きな力になっています。



中学生が保育実習(10/29,30)

一中の3年生が、技術家庭科の学習の一環として、梅檀保育園で保育実習を行いました。

このうち、29日は2組生徒が年長組の園児と向き合いました。この日は好天に恵まれ、芝生の園庭で思い思いに遊ぶ園児と寄り添う中学生の温かい交流が見られました。小学生の「一緒にする交流」とは違う、親のような目線で「温かく見守る」のが中学生らしさです。

中学生たちが園を後にしようとする時、園児たちから「バイバイ！」のシャワーが。中学生も「バイバイ！」と返し、お互いの姿が見えなくなるまで続けました。



中学生から歌の贈り物



「また会おうね！」

伝統のマラソン大会(10/29)

運動場を出発し、境高校を左手に見ながら、学年に応じた距離を走りました。曲がり角には黄色の旗を持った保護者が立たれ、また境港消防署の消防士さん4名(中には卒業生も!)が休日返上で伴走してくださいました。

清水厚志公民館長によると、昔はゴール地点で焼き芋が待っている「焼き芋マラソン」として行われていたとか。沿道では多くの人々がどの子にも分け隔てなく拍手と声援を送られます。形は変わっても「みんなで地域の子どもを育てよう」という思いが引き継がれています。



コミュニティ・スクール

一中文化祭に「CSコーナー」特設(11/8)

いつもは、一中北校舎3階に設けているCSコーナーですが「文化祭の機会に多くの人に見てもらいたい」と、ランチルームと体育館の間の壁にコーナーを特設しました。体育館でのステージ発表の幕間を利用し、多くの皆さんが足を止めてくださいました。「これを機に、3階からこの場所に移設して、見てもらいやすくしよう！」という話が進み始めました。



気づいたことなど

「少しずつ変わってきていると感じます。今後ともよろしくお願いします。」文化祭の日、声をかけられました。「一中校区が生んだ人材」の原稿を欲しいという声や、ご本人からのお手紙も頂きました。「関心を高めたい」と思ってきましたが、実は関心は高かったのです。今後は、隠れている関心を引き出す努力をしてみたいです。